

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	2ヶ月に1度のおカリナ・ボランティアは継続して来訪しているが、フラダンスや手品のボランティア・グループは足が遠のいている。保育園との交流は調整が不調に終わったが、小・中学校との交流を始めようとしている。近所に交番ができたのを契機として、運営推進会議への特別参加も含め、お巡りさんとの交流を視野に入れている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎の開催を目指していたが、中止をやむなくされたこともあって、年間6回の開催には至っていない。利用者を参加メンバーに加えることや、外部評価との連動が課題として残っている。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市役所が近いことから、管理者は頻繁に担当者のもとを訪れている。担当者の異動が少ないことから、連携は密なものとなっている。家族との関係についても、「早めに相談に来るように」と、担当者からアドバイスもらった。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	外出支援に関しても、家族は「日常的な外出」支援を希望していることから、散歩や買い物を中心にしている。近所に神社や地蔵尊があり、利用者の好みの場所として散歩コースに入れている。運営推進会議でも、家族代表の発言機会は多い。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議の目的や意義が十分に理解されていなかったこともあって、開催回数不足であり、会議メンバーに利用者が入っていなかったり、外部評価との連動が不十分であったりと、運営基準第85条に準拠した取り組みとはなっていなかった。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。